

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【公開番号】特開2017-176972(P2017-176972A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-66238(P2016-66238)

【国際特許分類】

B 0 8 B 9/055 (2006.01)

【F I】

B 0 8 B 9/055 5 5 1

B 0 8 B 9/055 5 5 2

B 0 8 B 9/055 5 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月5日(2018.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

図 6 (a) (b) (c) に示す分岐部 2 8、2 9 を使用して温泉スケール付着抑制装置を構成するときは、別途、温泉水配管 1 と配管経路 1 A、1 B とを、分岐部 2 8、2 9 とは別の継手を用いてまたは配管同士を接続するその他の公知の手段により、接続する必要がある(図 1 から図 5、図 8 (a)、図 9、図 1 2 参照)。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 3】

(2) 図 7 に示す分岐部

配管経路 1 A、1 B を温泉水配管 1 ではなく、分岐部 2 8、2 9 に接続しても、温泉スケール付着抑制装置を構成することができる。図 7 は、その場合の分岐部 2 8、2 9 の側面図である。つまり、分岐部 2 8、2 9 は、別途用意した継手を用いてまたは配管同士を接続するその他の公知の手段により、図 6 (b) に示す直管部 2 8 b、2 9 b に、当該直管部 2 8 b、2 9 b とは別の部材として配管経路の一部 1 a、1 b が接続位置 C 0 において接続しているもの(図 7 (a) 参照)や、図 6 (c) に示す直管部 2 8 b、2 9 b に、当該直管部 2 8 b、2 9 b とは別の部材として配管経路 1 A、1 B が接続位置 C 0 において接続しているもの(図 7 (b) 参照)であってよく、図 6 (b) に示す直管部 2 8 b、2 9 b に、配管経路の一部 1 a、1 b が接続位置 C 0 において連続し、一体として構成されているもの(図 7 (c) 参照)や、図 6 (c) に示す直管部 2 8 b、2 9 b に、配管経路の一部 1 a、1 b が接続位置 C 0* において連続し、一体として構成されているもの(図 7 (d) 参照)であってもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 4 4 】

１．２） 当該設置方法の第２例は、図７（ｃ）に示す分岐部２８、２９を使用する場合であり、次の工程を有する。

【工程１】既設の温泉水配管における温泉水の流通を停止させ、引き続き設置工事に備える。

【工程２】既設の温泉水配管の離隔した二箇所において、当該温泉水配管からある程度の長さを切除する。

【工程３】前記二箇所の間の温泉水配管１の両端に相当する接続位置Ｃ[1-28]*、Ｃ[1-29]*において、直管部２８ｂ、２９ｂの一端を取り付ける。

【工程４】直管部２８ｂ、２９ｂの他端に、曲管部２８ａ、２９ａの一端を取り付ける。

【工程５】順序は問わないが、次の接続を行う。

（ａ）接続位置Ｃ０*において配管経路１Ａ、１Ｂの一端を温泉水配管１に取り付ける。

（ｂ）接続位置Ｃ[2-28]*、Ｃ[3-29]*においてピグ投入・回収用配管２、３を分岐部２８、２９の他端に取り付ける。

（ｃ）工程２と同時にまたは工程２の前もしくは後に、工程１における切除により作り出された、温泉水配管１の両端と対面する残りの温泉水配管の端部に、配管経路１Ａ、１Ｂの他端を接続する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１４５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 4 5 】

１．３） 当該設置方法の第２例は、図７（ｄ）に示す分岐部２８、２９を使用する場合であり、次の工程を有する。

【工程１】既設の温泉水配管における温泉水の流通を停止させ、引き続き設置工事に備える。

【工程２】既設の温泉水配管の離隔した二箇所において、当該温泉水配管からある程度の長さを切除する。

【工程３】前記二箇所の間の温泉水配管１の両端に相当する接続位置Ｃ[1-28]*、Ｃ[1-29]*において、分岐部２８、２９の一端を温泉水配管１に取り付ける。

【工程４】順序は問わないが、次の接続を行う。

（ａ）接続位置Ｃ０*において配管経路１Ａ、１Ｂの一端を温泉水配管１に取り付ける。

（ｂ）接続位置Ｃ[2-28]*、Ｃ[3-29]*においてピグ投入・回収用配管２、３を分岐部２８、２９の他端に取り付ける。

（ｃ）工程２と同時にまたは工程２の前もしくは後に、工程１における切除により作り出された、温泉水配管１の両端と対面する残りの温泉水配管の端部に、配管経路１Ａ、１Ｂの他端を接続する。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１４６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 4 6 】

なお、分岐部２８、２９と温泉水配管１との接続、分岐部２８、２９とピグ投入・回収用配管との接続、温泉水配管１と配管経路１Ａ、１Ｂとの接続などは、フランジ継手、管継手などの公知の接続手段を使用して行なえば足りる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】図面

【 図 1 】

